

風力発電



東北自然エネルギー開発株式会社の能代風力発電所

自然の恵みが実感できます

東北自然エネルギー開発株式会社

岩井 昌之さん



能代風力発電所は浅内に二十四基あります。ほぼ一直線に設置しているのは日本では珍しく、男鹿半島や白神山地も見渡せ、抜群の眺望です。日本海に沈む夕日もきれいで、デートコースにも利用されているようです(笑)。

発電量は年間約三千四百万キロワットで、能代市の世帯消費量の約半分を賄える

量です。能代は近隣の地域より年間平均風速が高く、一年間の平均利用率も、他の地域より高いです。発電した電気を送る送電線も近くにあり、交通の便も良いことから修理や点検なども容易で、条件的には恵まれています。ほかの実験的な発電所と違い、十分営業ベースに乗っています。

とは言っても、建設費の補助金など、助成措置がないと風力発電は成り立ちません。建設費は約二十八億円、補助金はその三割弱でした。火力や原子力よりコスト面では割高です。国民の理解と協力が得られなければ、新エネルギーは普及しないと思います。

冬期間の発電量は夏場の三倍もあります。ブレード(羽根)は常に風上に向くように制御されています。低い風速から発電を開始し、十三・五メートルを超えると羽根の角度を変えて風を逃がすようにします。二十五メートル以上では完全にブレーキをかけます。

風力発電は風まかせなので、欲しいときに欲しい電力が得られないという欠点があります。また風切音が発生しますが、能代に設置した風車は、静粛性に優れています。家庭用への利用には、風切音や設置場所が課題ですね。出力の割にまだ値段も高めです。

風力発電は自然の力のすごさと、恵みを実感できます。また、回っている羽根を見ていると気持ちが高揚するかなど、癒しの効果もあるようです。

見学者も多いですから、観光面やおみやげ品の開発など、アイデア次第ではまちの活性化にも役立つと思います。ここ数年で落合や竹生、八童などにも設置されるようですが、自然エネルギーのまちとして、イメージアップにもつながるのではないのでしょうか。

二酸化炭素の排出削減が求められています。生活水準を落とさずにエネルギー消費量を減らすのは大変です。便利さが当たり前の時代ですが、エネルギーの大切さを感じてほしいと思います。能代風力発電所は市のホームページでも詳しく紹介されています。この施設がみなさんから親しまれるようになればうれしいです。

落合地区の風力発電



十二月に運転開始した株式会社日立エンジニアリングサービスと日立キャピタル株式会社の風力発電所。

クリーンエネルギー自動車 能代工業高校電気自動車



創立九十周年の記念事業として、車の排気ガス公害と地球温暖化が問題となっていることから、地球に優しい電気自動車を製作することにしました。

車検取得までは一年四月、二百三十万円の経費がかかりました。重いエンジンを取り出す作業や、後部座席をそのままに前後のバランスを取って電池の配置をするのが大変でした。細かい部品が組み上がって完成したときはすごいと思いました。初めて、静かになめらかに動いたときには、本当に感動しました。今はみんなで造ったという達成感でいっぱいです。

これからは電気自動車の時代になると思います。また機会があれば高速道を快適に走れるものを造りたいと思います。